



### 医歯薬連携の強化で 歯と口の健康から全身の疾病予防を

「歯と口の健康は全身の疾病予防、健康増進に重要」と健康増進法でも位置づけられており、愛知県歯科医師会は全国に先駆けた8020運動など地域住民の健康に積極的に寄与している。最近では、歯科医師による大規模接種会場での新型コロナワクチン接種、ウクライナからの避難民への歯科治療対応など全国初の活動を展開。同歯科医師会の内堀典保会長に話を伺った。

——愛知県歯科医師会会員による新型コロナのワクチン接種について教えてください。

**内堀** 新型コロナの感染が拡大していた2021年4月、当時の菅内閣は「6月末までに高齢者だけでもワクチン接種を完了したい」という意向でした。そこで医師・看護師だけでなく歯科医師も加われば早く達成できるのでは、という動きが現れたので、すぐに多方面から働きかけて、「医師法17条（医師以外の医業の禁止）に対して、緊急時において特定条件下で違法性の阻却」が実現し、歯科医師の新型コロナワクチン接種を可能にすることが出来ました。ただし①厚労省が提供する教材としてE-systemによる4項目研修及び確認テスト後の受講修了証取得②実技研修は、上腕部筋肉内・皮下注射シミュレーター（装着型）を用いた模型での研修を行う③接種ブース入口に「歯科医師によるワクチン接種」と明示して了承を得る—の3つの条件が付きまして。愛知県などの協力を得て早々に条件をクリア、5月30日から3回開催し、計約3000人が受講しました。

そして6月6日から県営名古屋空港の大規模会場での歯科医師によるワクチン接種がスタート。大規模接種会場は東京や大阪でも早々に設

けられましたが、自衛隊による接種でしたので、大規模接種会場での歯科医師によるワクチン接種は愛知県が全国初でした。他会場も含めると3月末までに計延べ1941人の歯科医師が約11万9000回接種しました。1日3交替で会員は自院の診療を中断や休診にして協力したわけで、大変感謝しています。

——認知症と口腔機能の関連を調査研究する厚労省老健局の事業は愛知県東浦町で4年行いました。

**内堀** 過去3年東浦町の65歳以上の高齢者を対象に、些細な口腔機能の衰え（滑舌の低下、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品の増加）による衰弱や老衰など、介護が必要となる一歩手前の段階の「オーラルフレイル」について3年間の調査結果より、高齢者の口腔機能低下症が比較的早期に現れていることから、4年目は40歳から64歳までの群と65歳以上の従来から対象群とに分けて調査を行いました。事前に送付した質問票や問診票の回答を持参していただき、当日は「健口力」検査として、①口腔衛生状態 ②口腔乾燥 ③咬合力 ④舌口唇運動機能 ⑤舌圧 ⑥咀嚼機能 ⑦嚥下機能 の7項目の検査にプラスして認知症の